

『石西礁湖自然再生全体構想 行動計画 2019-2023』 取組方針検討ワーキンググループの開催概要

1. 経緯

『石西礁湖自然再生全体構想 行動計画 2019-2023』の検討を開始するにあたり、7月7日に開催した第23回石西礁湖自然再生協議会において、今後の取組の全体的な方向性を示す取組方針を検討するためのワーキンググループ（WG）立ち上げの提案があったことを受けて、開催したもの。

2. WGの開催状況

○第1回WG

日時：8月30日（木） 15時～16時30分

場所：国際サンゴ礁研究・モニタリングセンター多目的レクチャー室

出席者：15名

結果：長期目標の内容に沿って方針案を示した事務局案に対して、誰もが共感しやすいような短いフレーズをいくつか組み合わせる表現方法がよい、といった意見が出され、構成及び表現方法について再検討することになった。

○第2回WG

日時：9月21日（金） 15時～16時30分

場所：国際サンゴ礁研究・モニタリングセンター多目的レクチャー室

出席者：22名

結果：サンゴにちなんで、「3つの取組分野」とそれにぶらさがる「5つの方針」を示す構成案について意見交換を行い、WGから本協議会に提案を行う取組方針（案）として整理を行った（資料2-2のとおり）。

○WGにおけるその他の話題

取組方針（案）に関する意見交換を行う中で、今後の協議会のあり方や取組の進め方等に関する意見が出された。

- ・自然再生協議会や自然再生の取組について知らない人が多いことから、様々な方法で広報や普及啓発を行った方がよい。
- ・協議会は、様々な立場の委員で構成されていることから、一つの案件に対して反対賛成の意見を言う場ではなく、各自ができる取組を行い、みんなで石西礁湖をよくしていこうという場である。サンゴ礁に関わる人たちの横のつながりを深め、取組のヒントを得られる場でありたい。
- ・協議会において新たな数値基準や仕組みをつくることは難しいが、協議会には多くの委員が参加していることから、課題を共有し、既存の取組や制度の活用・評価につなげていけるとよい。